

# 超抜機を相棒に躍動！ 福岡泉水がデビュー初優出初V！



# 桐生

## 6/25~30 ヴィーナズシリーズ第7戦 第17回マクール杯

1	④	福岡 泉水 (26)	兵庫	④	05	51162122
2	⑤	今井 裕梨 (40)	群馬	⑤	13	164142312
3	②	赤井 睦 (35)	徳島	②	10	21252561
4	⑥	寺田 千恵 (55)	岡山	⑥	11	141412223
5	①	浜田亜理沙 (36)	埼玉	①	06	212221231
6	③	土屋実沙希 (35)	静岡	③	15	14322332
④⑤		1900円(8)	④⑤②	12220円(38)	まくり	

## 7/5~10 第21回新東通信杯 BTS福島開場13周年記念

1	①	関 浩哉 (29)	群馬	①	11	211311231
2	④	高倉 和士 (33)	福岡	②	12	121111132
3	③	鈴木 雅希 (29)	東京	⑥	10	333532321
4	②	加藤 高史 (54)	埼玉	⑤	13	112221221
5	⑤	江口 晃生 (59)	群馬	③	16	231331222
6	⑥	下河 誉史 (41)	福岡	④	14	332222452
①④		370円(1)	①④③	2000円(5)	逃げ	

## 7/14~19 オールレディース第57回日刊スポーツ杯

1	①	渡邊 優美 (31)	福岡	①	12	32112121
2	④	松本 晶恵 (37)	群馬	④	16	32211112
3	②	片岡 恵里 (44)	山口	②	15	341321421
4	③	佐々木裕美 (44)	山口	③	14	56212311
5	⑥	海野ゆかり (50)	広島	⑥	14	213232532
6	⑤	鎌倉 涼 (35)	大阪	⑤	13	12115122
①④		370円(1)	①④②	1310円(4)	逃げ	

〔6月25日〕ヴィーナズシリーズ第7戦 第17回マクール杯 福岡泉水がデビュー7年8か月目で初優出、初優勝を達成した。当節は有力機を引き、序盤から「力がすごい。こんなエンジン初めてです。選手になってからダントツで1番」とパワーを実感していた。予選3勝は全てまくりで8位通過。準優はSで後手に回ったが、イン浜田亜理沙を脅かすほどのツケマイを放ち、道中で蜂須瑞生との2着争いを制した。準優後には「節イチ」と話し、優勝戦には「絶対緊張はすると思うので、それを上回るような自信で行けるように」と意気込んだ。ファイナルのS展示は土屋実沙希がビット離れでインを奪取したが、本番は枠なり3対3。4カドからゼロ台のトップSを決めた福岡はまくり一撃で勝利し、表彰式で飛び切りの笑顔を見せた。

〔7月5日〕第21回新東通信杯 BTS福島開場13周年記念〕ダ1位勝率の勝負駆けで参戦した高倉和士が予選1位、関浩哉が同2位。準優で関は1着、高倉は2着となり、優勝戦の絶好枠は関が手にした。外枠には江口晃生、前づけ宣言の下河誉史。高倉は「コースは僕もどうなるのかわかりません」と困惑していたが、当日は腹を決めてS展示、本番ともに突っ張って1456/23の並び。内3人は深い起こしとなったが、関がしっかりとSを決めて逃げ、当地2回目の優勝をつかんだ。

〔7月14日〕オールレディース第57回日刊スポーツ杯〕渡邊優美、松本晶恵、土屋千明の3人が予選の得点率、上位着数で並び、3周レースタイム差で渡邊が予選1位となった。準優でただ一人逃げた渡邊は「初1着も初優出も桐生なので、桐生初Vも(今回)取っていきたい」と気合の乗りも良く、最後は他を寄せ付けずに圧逃した。

(スポーツ報知・佐々木伸)

# 戸田

## パワー生かした久田敏之 苦手な戸田で初優勝！



6月20日からは4日間の短期戦。主力の杉山正樹、権藤俊光が凡機に手を焼くなか、久田敏之が直線型の好調機を手に入れた、パワーでリード。予選で4勝を挙げ、トップ通過を決めた。久田は当地は苦手意識があったが、優勝戦でもしっかりと逃げを決めて、戸田初優勝。普段はライン系を整えてまとめるタイプだが、今シリーズでは足重視の仕上げでV奪取となった。また、4日目9Rで愛知133期の近藤颯斗が6コースからまくりを決めて初勝利を挙げた。前節のV機で、初日から雰囲気はあったが、今節最終走で大まくりを決めて1着。デビューから99走目での水神祭となった。

26日からは6日間開催の「加藤峻二杯」。帰郷者が多く出る波乱の流れのなか、地元石田貴洋が自身初の優勝戦の1号艇を手に入れた。最後は気合の10スタートから押し切り、昨年8月の住之江以来、2度目の優勝を飾った。

(ガイド長谷川)

7月7日からは毎年恒例の企画戦の「シニアV Sヤング」。主力の辻栄蔵にエース8号機が渡り、序盤から優位に運んだ。順当に予選トップ通過を決め、準優戦もクリアしたが、V戦はまさかの勇み足に……。差した砂長知輝が道中で宗行治哉を競り落とし、昨年8月以来、通算3度目の優勝を飾った。

14日からのシリーズを制したのは山崎郡。直線系を中心にトップ級に仕上げ、優勝戦は道中追い上げての逆転Vとなった。2月の近畿地区選以来、今年は2度目。通算では22回目の優勝を飾った。

## 6/20~23 第8回週刊大衆杯

1	①	久田 敏之 (43)	群馬	①	19	321211
2	②	中田 竜太 (36)	埼玉	②	18	314111
3	③	島田 賢人 (36)	埼玉	③	27	112143
4	⑥	石塚 久也 (42)	埼玉	⑥	20	12252
5	④	加藤 高史 (54)	埼玉	④	22	22222
6	⑤	船岡洋一郎 (37)	広島	⑤	15	243311
①②		220円(1)	①②③	640円(1)	逃げ	

## 6/26~7/1 第9回加藤峻二杯・日本財団会長賞

1	①	石田 貴洋 (28)	埼玉	①	10	22232321
2	③	原田才一郎 (27)	福岡	③	10	333423121
3	②	野中 一平 (29)	愛知	②	09	254421111
4	⑤	大澤 風葵 (23)	群馬	⑤	18	331141122
5	⑥	吉川 貴仁 (30)	三重	⑥	24	213341212
6	④	高倉 和士 (33)	福岡	④	15	421113132
①③		750円(3)	①③②	2280円(6)	逃げ	

## 7/7~11 第13回シニアVヤング・タリフジオレンジカップ

1	②	砂長 知輝 (24)	埼玉	②	09	14212141
2	⑤	宗行 治哉 (26)	広島	③	09	2333113
3	⑥	鈴木 博 (54)	埼玉	⑥	12	3242143
4	③	山本 寛久 (48)	岡山	④	05	16321152
5	④	三村 岳人 (24)	岡山	⑤	07	2123222
F	①	辻 栄蔵 (49)	広島	①	+01	12311231
②⑤		1160円(5)	②⑤⑥	6060円(32)	恵まれ	

## 7/14~17 アーリー・タイムズカップ

1	④	山崎 郡 (34)	大阪	④	15	331113
2	①	春園 功太 (32)	三重	①	08	251211
3	③	滝沢 芳行 (55)	埼玉	③	12	11213
4	②	西山 貴浩 (37)	福岡	②	13	113321
5	⑤	吉川 喜徳 (42)	滋賀	⑤	20	162312
6	⑥	武重 雄介 (40)	山口	⑥	18	42131
④①		950円(3)	④①③	4820円(15)	抜き	

# 江戸川



## 道中大逆転のミラクルV 佐藤隆太郎がクラシックへ「リーチ」

### 6/16~21 につぼん未来プロジェクト競走in江戸川

1	①	出畑 孝典 (45) 福岡	①	02	1212241
2	②	水谷 理人 (21) 香川	②	09	32131131
3	⑥	古賀 繁輝 (37) 佐賀	⑥	17	4431123
4	⑤	土井 歩夢 (21) 福岡	⑤	11	13224133
5	③	小坂 尚哉 (37) 兵庫	③	29	16121452
6	④	末永 祐輝 (36) 山口	④	17	145132322
①② 540円(2) ①②⑥ 3350円(9) 逃げ					

### 6/25~28 第48回東京中日スポーツ杯

1	①	佐藤隆太郎 (30) 東京	①	12	21114
2	⑤	栗城 匠 (29) 東京	⑤	09	52113
3	⑥	新出 浩司 (41) 大阪	⑥	16	54111
4	②	山口 達也 (37) 岡山	②	14	31231
5	④	竹之内 極 (29) 福岡	④	09	21612
6	③	渡邊 和将 (34) 岡山	③	11	33131
①⑤ 870円(3) ①⑤⑥ 7340円(22) 抜き					

### 7/2~7 第13回オートレースレディースVSルークスバトル

1	②	登玉 隼百 (25) 兵庫	②	22	21124211
2	③	前原 大道 (27) 岡山	③	12	43121342
3	①	清埜 翔子 (32) 埼玉	①	13	22113221
4	④	清水 沙樹 (37) 東京	④	11	11323352
5	⑥	深川麻奈美 (37) 福岡	⑥	13	61231143
6	⑤	津田 陸翔 (23) 広島	⑤	14	22312263
②③ 1710円(6) ②③① 3760円(13) 差し					

6月16日頃の「につぼん未来プロジェクト」は、出畑孝典が予選トップからの王道1枠イン逃げて優勝。出畑は準前走地の桐生に続いての連続Vで今年V3。「3つめ、これでちょっとは見えてきましたね」と久しぶりなSG戦の権利獲得へも意欲的。「息子がデビューして発奮材料になっている。あとは息子がついてきてくれればね」と今後の抱負を語った。

6月25日頃の「東京中日スポーツ杯」は、佐藤隆太郎がミラクルな逆転劇で優勝を飾った。優勝戦は1枠イン戦の佐藤が1M先マイも、ここを見事なまくり差して5号艇の栗城匠が捕らえた。栗城は道中では一時6、7艇身は佐藤を突き放して完全に優勝をさらったと思われたが、2周2Mあたりからその栗城の艇の挙動が怪しくなり、インで残して猛追撃をかけた佐藤の姿が迫っていく。ラストターまで何とか優勢な位置で旋回

した栗城だったが、その最後のターンも漏れて遂に佐藤の逆転を許してしまった。勝った佐藤は「前が乗りづらそうだったし、3周チャンスはあると思ってました」と懸命の道中戦が実った格好。これで今年はずくもV5。クラシック目処の6Vへ「あと1つ！」と笑顔で語った。

7月2日頃の「レディースVルークスバトル」は、登玉隼百がインの清埜翔子を差して撃破。デビュー4年目での初優勝を遂げ、最期までもつれた団体戦もルークスの勝利へ導いた。「流れが良かったし、前の日から(初優勝)しちゃう未来しか見えてなかった。思いどおりにいきました！」と笑顔。登玉はエース候補23号機を駆った当節。「(23号機を)エース機と呼んだ方がいい」と相棒を評した。初下ろしから5節目だった23号機。これで晴れて記者間でも、『候補』を取って『エース23号機』の呼称となった。(野添)

## 鮮やかまくり差し！ 市橋卓士がV奪取！



### 6/22~25 第24回夕刊フジ杯

1	②	渡邊 雄朗 (38) 東京	②	07	22211
2	③	金田 諭 (45) 埼玉	③	08	141115
3	①	作間 章 (44) 東京	①	09	231212
4	⑤	森永 隆 (36) 山口	⑤	11	411143
5	⑥	益田 啓司 (45) 福岡	⑥	15	155311
6	④	山川 雄大 (31) 兵庫	④	13	16212
②③ 2590円(8) ②③① 5620円(20) まくり					

### 7/4~9 第37回麒麟カップ

1	②	市橋 卓士 (44) 徳島	③	10	311232131
2	①	新開 航 (28) 福岡	①	11	141311141
3	⑤	八木 治樹 (33) 愛知	⑤	18	112435352
4	③	山田 竜一 (53) 東京	②	20	331411421
5	⑥	山本景士郎 (36) 広島	⑥	18	23643232
6	④	若林 義人 (26) 静岡	④	08	461111412
②① 1460円(6) ②①⑤ 11910円(33) まくり差し					

### 7/14~19 第70回報知杯

1	①	佐藤隆太郎 (30) 東京	①	07	311132131
2	⑤	西村 拓也 (37) 大阪	⑤	13	561211122
3	④	今井 貴士 (39) 福岡	④	06	153211352
4	⑥	長尾 章平 (39) 山口	⑥	16	251161332
5	②	高橋 英之 (50) 東京	②	07	111413241
6	③	宮本 夏樹 (36) 長崎	③	08	243622141
①⑤ 530円(3) ①⑤④ 1480円(6) 逃げ					

オートレース平和島では6月14日から新エンジンが投入された22日初日『第24回夕刊フジ杯』が新機2節目にあたった。当該シリーズでは初日に逃げが1本しか決まらず、その1本が『イン逃げ万舟』。混戦気配満載の中で、予選首位の地位を巡る争いは激しさを増し、最終的には着をまとめた作間章がその地位に収まったが、優勝戦では2枠・渡邊雄朗が良質なスタートダッシュを乗せて、ジカまくり敢行。地元でありながら長らく活躍がなかった平和島での嬉しい初優勝、即初Vを決めた。

続くGⅢ『第37回麒麟カップ』では、初下ろしの際に石川真二が超出足型に仕立てた24号機を山田竜一が引き継ぎ、石川同様に『離れて飛ぶ』走りを連日に渡って披露。準備では2枠からインを奪い、優勝戦でも3枠から離れて飛び2コースへ。逃げ切りVを目指した新開航にとつてこれは厄介な存在となり同時に、伸び型だった2枠・市橋卓士にとってはありがたい存在に。市橋は3コースから伸びを生かしまくりに差しに成功し、新機2節目を阻止。新機登場からの3節では小坂宗司、渡邊、そして市橋と、いずれも2枠の選手が伸びを生かし優勝する、という現象がここに生まれた。

2枠勢の4連覇を阻止したのが『第70回報知杯』におけるシリーズリーダー・佐藤隆太郎。優勝戦は追い風やや強め、満潮時刻が重なり潮位が高く、インが精度高く旋回することが難しい難条件ではあったが、これを見事に克服し逃げ切り、当地での一般戦では3連覇達成。同時にこれは今年6回目の優勝となり、来年のクラシック出場が現実的に。更に、当節の活躍により出場ボーダー辺りだったダービーへの出場切符をも手元に引き寄せることに成功。佐藤にとつて実り多い6日間になった。(ガイド・長船)

# 節イチ仕立ての70号機 福来剛がスイスイ!



## 6/19~24 第19回サントリーカップ

1	①	福来 剛 (43)	東京	①	10	161113121
2	③	笠原 亮 (44)	静岡	③	06	421142231
3	⑥	河合 佑樹 (37)	静岡	⑥	13	543113432
4	④	白井 英治 (47)	山口	④	08	313233112
5	②	新田 雄史 (39)	三重	②	12	142241151
6	⑤	三浦洋次朗 (35)	愛知	⑤	09	163122162
①③ 400円(3) ①③⑥ 2700円(11) 逃げ						

## 6/29~7/3 第10回ホットマンカップ

1	②	上條 嘉嗣 (34)	大阪	②	08	223111261
2	④	石塚 久也 (42)	埼玉	④	09	26232122
3	③	福島 勇樹 (44)	東京	③	12	24222151
4	⑤	多田 有佑 (41)	東京	⑤	13	1315242
5	①	吉川 昭男 (51)	滋賀	①	11	1321121
6	⑥	伊藤 将吉 (45)	静岡	⑥	13	23114612
②④ 3390円(9) ②④③ 17290円(41) 差し						

## 7/9~14 第1回坂上忍杯

1	①	黒野 元基 (28)	愛知	①	14	132111151
2	②	松尾 充 (35)	三重	②	15	113231251
3	③	古結 宏 (46)	兵庫	③	09	411132131
4	⑤	重野 哲之 (45)	静岡	⑤	15	222421112
5	⑥	宮下 元胤 (41)	愛知	⑥	17	41223532
6	④	徳増 秀樹 (49)	静岡	④	11	122312112
①② 340円(1) ①②③ 900円(2) 逃げ						

6月19日から始まったG III「第19回サントリーカップ」は5人のSGレーサーを含む豪華メンバーによって争われた。初日と2日目の12Rにはファン投票で選ばれたメンバーによるドリーム戦が行われ、初目を白井英治がイン逃げ、2日目を福来剛が2コース差して勝利を収めた。シリーズはSGウイナー達が機力の底上げをしている間に福来が1着を重ね予選1位に。相棒の70号機は5月のオールスターで峰竜太が乗ってからは上昇一途で節イチ級だった。優勝は笠原亮が3コースから鋭いまくり差して逆転を狙いに来たが、回ってから急加速した福来がバック独走で押し切った。

7月3日に最終日を迎えた「第10回ホットマンカップ」は伸び節イチの吉川昭男と出足節イチの上條嘉嗣が優勝戦1、2枠を占めた。1枠に入った吉川は「エンジンささままやね。さす(オールスターで定松勇樹が)SG初Vしただけある」と賛辞を送るが、不安がないわけではなかった。「スタートが課題。届いてないし勘と差がある」とぼつり。これが優勝戦で出たスリット手前で上体を起こした吉川に対し、バッチリSを決めてきた上條がプレッシャーをかける。何とか1Mを先に回った吉川だがそのターンは大きく流れ、上條が鋭く差して抜け出し今年2度目の優勝を決めた。

(トーチユウ・白川)

# 浜名湖



## 予選トップ通過の山田康二 遅ればせながら今年初V

「日本モーターボート選手会会長杯」まずは池田雄祐が3走オールの裏付けもありこのまま予選トップ通過するものと思われた。しかし、予選ラストの3日目12Rで4着敗退で、優出次点。短期決戦の厳しさを痛感させた。代わってシリーズリーダーに躍り出たのが山田康二。優勝戦は2コースから差した吉川元浩に迫られたが、インから何とか踏ん張り今年初Vを決めた。

「シルバークップ」優勝候補の筆頭、森高一真が3日目に私傷病で途中帰郷。これでV争いは混戦と化した。準優1枠は得点率順に黒野元基、金子良昭、中野次郎の手に。唯一逃げた黒野がファイナル1枠。ところが、優勝戦はインでコマ22の最後方スタートで、山口裕二の4カドまくり抵抗するのが精いっぱい。5コースからまくり差した中野次郎が通算50度目の優勝を飾った。

「テレレサマーカップ」予選トップ通過は中辻博訓。以下、北村征嗣と大平誉史明が準優1枠1、3枠に並んだ。これら3人の中では中辻がやや機力で見劣るも、ファイナルは危なげなく逃げ切って優勝。これで当地では20年以降の7節で6優出2優勝。相性の良さをまざまざと見せつけた。

(MOCH I)

## 6/18~21 日本モーターボート選手会会長杯

1	①	山田 康二 (36)	佐賀	①	09	1411131
2	②	吉川 元浩 (51)	兵庫	②	11	1621113
3	⑥	桐生 順平 (37)	埼玉	⑥	12	214312
4	⑤	徳増 秀樹 (49)	静岡	⑤	09	154121
5	③	松下 直也 (44)	兵庫	③	11	33121
6	④	山田 真聖 (25)	山口	④	12	23122
①② 270円(1) ①②⑥ 740円(1) 逃げ						

## 6/29~7/4 創刊70周年記念 中日スポーツルバーカップ

1	④	中野 次郎 (43)	東京	⑤	11	1631211432
2	①	黒野 元基 (28)	愛知	①	22	2316121131
3	⑤	金子 良昭 (59)	静岡	②	17	123134132
4	⑥	小池 公生 (37)	福岡	⑥	13	1513511462
5	③	山口 裕二 (45)	長崎	④	10	641112511
6	②	伊藤 啓三 (49)	埼玉	③	18	225122231
④① 2350円(8) ④①⑤ 12340円(40) まくり差し						

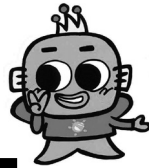
## 7/8~13 第8戦マンスリーBOATRACE杯

1	①	三浦 永理 (41)	静岡	①	07	1112112121
2	④	喜井つかさ (34)	岡山	④	11	1622132222
3	③	大瀧明日香 (44)	愛知	③	11	311314141
4	⑤	細川 裕子 (42)	愛知	⑤	15	3251532522
5	⑥	勝浦 真帆 (28)	岡山	⑥	15	316414522
6	②	松尾 夏海 (32)	香川	②	08	1532211211
①④ 530円(3) ①④③ 1690円(8) 逃げ						

## 7/17~22 テレレサマーカップ

1	①	中辻 博訓 (49)	福井	①	03	2321114131
2	②	北村 征嗣 (45)	大阪	②	07	2111352161
3	⑥	山田 雄太 (42)	静岡	⑥	11	622211352
4	④	村田 修次 (51)	東京	④	08	2522421222
5	③	大平誉史明 (55)	大阪	③	04	112242221
6	⑤	中越 博紀 (40)	香川	⑤	10	432412542
①② 210円(1) ①②⑥ 1110円(3) 逃げ						

# 蒲郡



## チルトを駆使した田中宏樹 待望のデビュー初V!

### 6/21~25 蒲郡市観光協会会長杯争奪 蒲郡あじさい特別

1	①	藤原 仙二 (20)	滋賀	①	04	2121141
2	③	大場 恒季 (24)	愛知	③	02	2113451
3	②	松井 洪弥 (31)	三重	②	08	13221511
4	⑤	福田 雅一 (55)	香川	⑤	03	5113312
5	④	岡瀬 正人 (49)	岡山	④	10	2213232
6	⑥	山本 浩次 (51)	岡山	⑥	03	314232
①③ 840円(3) ①③② 1750円(6) 逃げ						

### 7/2~7 蒲郡巧者集結! スポーツニッポン杯争奪蒲郡ボート大賞

1	①	田中 宏樹 (36)	福岡	①	21	241421141
2	②	久田 敏之 (43)	群馬	②	18	2114224121
3	③	関口 智久 (45)	埼玉	③	16	114153411
4	⑤	畑 竜生 (27)	三重	⑤	23	123243432
5	④	君島 秀三 (43)	滋賀	④	21	114152132
6	⑥	汐崎 正則 (48)	愛知	⑥	17	63222222
①② 390円(1) ①②③ 1130円(2) 逃げ						

### 7/16~21 にっぽん未来プロジェクト競走in蒲郡

1	①	平田 忠則 (47)	福岡	①	04	4123212321
2	②	村上 遼 (32)	長崎	②	01	1221541121
3	⑤	大須賀 友 (37)	愛知	⑤	05	313324412
4	③	金子 拓矢 (40)	群馬	③	15	1414511221
5	④	久田 武 (50)	愛知	④	12	431223652
6	⑥	藤堂 里香 (36)	福井	⑥	06	124352652
①② 290円(1) ①②⑤ 800円(2) 逃げ						

6月21日からの蒲郡あじさい特別は、5日間のミドル開催だった。主力の森高一真や上平真二が凡機に泣かされる中、若手の大場恒季、藤原仙二が好ファイト。両者ともデビュー初Vを狙ってしのぎを削った。

藤原は前節の児島で初めてインコースに入りコンマ36(3着)の立ち遅れ。そのリベンジを予定最終日に果たし、後半はキレ味抜群のまくり差し。逆転でトップの座を奪い、勢いそのままに準優、優勝戦を逃げ切った。大場は一步及ばずの優出2着だったが、F3から立ち直り、蒲郡のフレッシュルーキーとして成長を魅せた。

7月2日からの蒲郡ボート大賞は、23~24シーズンのエンジン使い納めだった。少し振り返ると、初下ろしから機力差があり、終盤に向かうにつれ大きくなっていった。エース62号機は、一年間の勝率が7・10、2連対

率は59・8%と蒲郡の歴代モーターでは最高のアベレージを残した。話を本題に戻すと、この6日初日から白熱の攻防戦が繰り広げられた。得点率トップは田中宏樹。予選道中はチルトを0・5~3度を使い分けて奮闘したが、準優、優勝戦は0に下げてVゴールを決めた。こちらも、前節の藤原仙二に続くデビュー初V劇を演じた。

7月16日からの6日制は、モーター、ボート、プロペラが更新されて行われた。星の潰し合いが展開され、シリーズリーダー争いは混沌としたが、GI4優勝の平田忠則がトップを奪取してVロードを駆け抜けた。

初下ろし節で気配の良かったモーターは、加藤優弥の16号機、大須賀友の14号機、女子では藤堂里香の12号機だ。(スポーツ報知・太田和良)

### 6/29~7/2 第16回BOATBoyカップ

1	①	椎名 豊 (35)	群馬	①	15	121111
2	②	杉山 正樹 (44)	愛知	②	18	112311
3	⑤	草場 康幸 (48)	佐賀	⑤	13	232342
4	③	木下 雄介 (29)	滋賀	③	11	11121
5	⑥	一瀬 明 (53)	東京	⑥	14	434152
6	④	待鳥 雄紀 (44)	福岡	④	10	321622
①② 190円(1) ①②⑤ 1730円(7) 逃げ						

### 7/5~8 夏のマーゴの湯記念競走

1	①	岩瀬 裕亮 (36)	愛知	①	06	311121
2	②	北野 輝季 (35)	愛知	②	12	143131
3	③	篠崎 元志 (38)	福岡	③	15	231341
4	④	前田 翔 (24)	愛知	④	18	153132
5	⑤	小池 修平 (29)	大阪	⑤	16	323522
6	⑥	大江 純 (28)	愛知	⑥	12	122452
①② 290円(1) ①②③ 770円(1) 逃げ						

### 7/14~17 創刊70周年中日スポーツ杯争奪第28回ドラゴン大賞

1	②	柳沢 一 (43)	愛知	②	14	212221
2	①	杉山 裕也 (38)	愛知	①	11	131111
3	③	永田 啓二 (39)	福岡	③	16	451231
4	④	仲口 博崇 (51)	愛知	④	20	116312
5	⑥	篠田 優也 (38)	兵庫	⑥	17	132252
6	⑤	飯島 誠 (45)	埼玉	⑤	16	33312
②① 950円(4) ②①③ 3070円(10) 差し						

### 7/21~24 にっぽん未来プロジェクト競走inこなめ

1	⑤	松下 一也 (41)	静岡	⑤	07	221542
2	⑥	松尾 祭 (36)	香川	⑥	19	412442
3	④	高岡 竜也 (31)	山口	④	17	62112
4	②	藤岡 俊介 (41)	兵庫	②	26	221221
5	①	重成 一人 (45)	香川	①	18	132111
6	③	桐本 康臣 (44)	三重	③	21	312111
⑤⑥ 10510円(16) ⑤⑥④ 55660円(69) まくり						

## 平田忠則&椎名豊

### 2節連続で準パーフェクト!



# とこなめ

「6月23日~26日」ドリーム戦以外は全て1着で勝ち上がった平田忠則が準完全Vをかけてイン逃げ勝負。コンマ16の好Sを決めると、最内有利に平田が先マイ押し切りに成功する。差しに構えた新田智彰は引き波に吸い込まれ、外マイ握った向後龍一が続き2着。

「6月29日~7月2日」今回も椎名豊がドリーム戦2着以外は全て1着で準完全Vを決めた。優勝戦は隣がへこむ壁ナシスリットだったが、慌てることなく先に回って突き放した。初Vを狙った木下雄介のまくり差しは不発に終わり、手堅く差した杉山正樹が2着入線。

「7月5日~8日」大江純の自身初優出もあったが、地元勢が4人も優勝戦に駒を進めてきた。中でも絶対好棒を勝ち取った岩瀬裕亮のデキが良かった。その岩瀬は最後まで隙なく逃げ、当地イン戦27連勝でVを飾った。北野輝季が一番差しで続いて地元ワ

ン・ツー決着。

「7月14日~17日」抜群のパワーに仕上げて優勝戦のポールポジションを手にした杉山裕也。優勝戦はインからトップSを決め、盤石の逃げと思われたが、1マークまさかのオーバーターン。それを見逃す柳沢一ではなく、2コースからスプリと差しで優勝を手にした。

「7月21日~24日」直前で強まる向かい風は絶対好棒の重成一人にマイナスに働いたか。インからコンマ18のSが精一杯で、さらに壁ナシのスリット隊形。そんな中、S巧者の松下一也がコンマ07のSから一気に絞めまくる。伸び仕様も吉と出たようだ。(とこなめ情報・土井)

### 6/23~26 ウィンボとこなめ開設15周年記念競走

1	①	平田 忠則 (47)	福岡	①	16	121111
2	③	向後 龍一 (43)	埼玉	③	16	122261
3	⑤	飯島 昌弘 (51)	埼玉	⑤	21	253132
4	⑥	河村 了 (40)	愛知	⑥	16	415342
5	②	新田 智彰 (50)	大阪	②	14	11321
6	④	松田 竜馬 (40)	福岡	④	17	31412
①③ 220円(1) ①③⑤ 840円(2) 逃げ						

# 王道Vの吉田俊彦 当地2連覇を達成!



# 津

## 6/18~23 津マスターズリーグ第3戦三交マキシカップ

1	①	吉田 俊彦 (45)	兵庫	①	17	24321151
2	③	山本 寛久 (48)	岡山	③	21	2211326121
3	⑤	長野 道臣 (51)	静岡	⑤	17	42312312
4	④	伊藤 将吉 (45)	静岡	④	18	214122612
5	⑥	佐藤 大介 (48)	愛知	⑥	22	2613332412
6	②	重野 哲之 (45)	静岡	②	18	115131241
①③ 330円(2) ①③⑤ 2350円(7) 逃げ						

## 6/27~7/1 マンスリーBOATRACE杯

1	①	金子 拓矢 (40)	群馬	①	10	4122131
2	⑤	池田 雄一 (42)	静岡	⑤	12	26214222
3	③	石橋 道友 (42)	長崎	③	22	43112121
4	④	角谷 健吾 (51)	東京	④	15	24113512
5	⑥	折下 寛法 (50)	東京	⑥	13	3321432
6	②	河野 主樹 (28)	大阪	②	16	1411321
①⑤ 830円(4) ①⑤③ 1950円(7) 逃げ						

## 7/19~22 津P第2戦熱いぜ!夏男大集合

1	①	松尾 拓 (35)	三重	①	16	211511
2	③	中野 次郎 (43)	東京	③	15	222234
3	⑤	渡邊 俊介 (37)	愛知	⑤	09	32115
4	⑥	伊藤 啓三 (49)	埼玉	⑥	14	14332
5	④	村上 功祐 (45)	大阪	④	10	13134
6	②	中村 辰也 (36)	長崎	②	21	163212
①③ 250円(1) ①③⑤ 1130円(3) 逃げ						

GⅢ「三交マキシカップ」は6月18日に開幕。初日ドリーム勝ちの魚谷智之が途中帰郷となりV争いは混迷したが、予選トップ通過を決めたのが吉田俊彦。2日目にセット交換を施して動きは一変。勝率1位エンジンは完全復活となり、中盤からは実力を存分に見せつけた。優勝もインで一気に逃げ切つて、3月一般戦に続く津連覇、今年3回目となる優勝を飾った。

27日からの「マンスリーBOATRACE杯」は5日間シリーズで進められた。初日のドリーム1号艇で痛恨のスタート遅れ。人気に応えられなかった石橋道友は、減点10も受けるなど厳しい状況だったがセット交換で足は上昇。減点をはね返して優出に成功したが活躍はこまです。予選トップの金子拓矢が優勝も安定のトップスタートを決めイン先マイ。今年初優勝を力強く決めた。

GⅡボートレース甲子園を

扶んで19日に迎えたのが「熱いぜ! 夏男大集合」。4日間の短期決戦、低勝率エンジンが多く、A1級はわずか3選手と波乱が予想された。初日にただひとり連勝をマークしたのが岡部哲。「数年に一度の出来事」と笑ったが、2020年に浜名湖で4連勝を優勝へ結び付けていた。連勝は3でストップ、優出勝負となった予選最終戦は痛恨のFに散り「自分に負けてしまった」と唇をかんだ。節間2度も3連単10万円超が飛び出した大乱戦を引っ張ったのは松尾拓。3日目は4位タイの位置から連勝でトップ奪還。優勝戦も一気に逃げ切つて今年初優勝を決めた。松尾は今年3優出だが、すべて地元津。他場ではもうひとつ流れに乗れていない印象もあるが、ここをきつかけにして今年後半戦を巻き返す。気温は37度を示してタイトル通り「熱いぜ!」ではなく「暑いです」の一節に。(中日スポーツ・高橋)



# 開幕4連勝の松下直也 12年7か月ぶりの美酒

「三国巧者決定戦」は、初日の三国選抜を勝った地元の武田光史。好調の波に乗って、準優勝の絶対枠が巡ってきたが、準優勝前のレースで転覆のアクシデント。さらに準優勝戦は5着大敗し、途中帰郷と涙をのむことになった。一方、優勝戦は予選2日目から6連勝した中野次郎が優勝戦の1号艇。ただ、6号艇に吉川昭男がいたことで、コー

(実況アナウンサー・高橋敬亮)

6月下旬の「九頭龍賞」では、初日から4連勝を飾り、そのまま快進撃を続けた松下直也が優勝戦の絶対枠をゲット。また、安定感を見せた梶野学志、地元で初優勝を目指す金田智博、終盤に調子上げた葛原大陽、当地5節連続優出となった秋元哲、約一年半ぶりのファイナル進出となった三宅潤が頂上決戦へ進んだ。そして、優勝戦は人気が応えて逃げた松下が、何と12年7か月ぶりとなるV。通算2度目の優勝に、久々に満面の笑顔をみせていた。

ス取りから注目が集まった。優勝は、本番で吉川が2コースに入り、福島勇樹が3コースカドにしての16/2345。ここで、コンマ05の気迫のスタートを放った中野が堂々と押し切り、2節連続優勝を決めた。男女混合の「につぼん未来プロジェクト」は、地元師弟コンビ・松田祐季と西橋奈未に注目が集まるも、西橋は予選道中の減点が響いての敗退。また、松田は予選をクリアしたものの、準優勝戦3着惜敗で優出を逃した。シリーズの主導権争いは、初日の三国選抜を含む6勝を挙げた岡村仁が優勝戦の1号艇を獲得したのだが。スタート展示の時より少し追い風が吹いた優勝戦。断然人気の岡村が、まさかのコンマ02のフライングに散る大波乱。結局、4号艇の三角哲男が繰り上がったのVゴールとなり、今年4度目の優勝を飾った。

## 6/26~7/1 日本財団会長賞 第48回九頭龍賞

1	①	松下 直也 (44)	兵庫	①	19	111124241
2	④	葛原 大陽 (41)	徳島	④	23	135521112
3	②	梶野 学志 (43)	東京	②	18	1361311121
4	⑥	三宅 潤 (39)	大阪	⑥	17	23431322
5	⑤	秋元 哲 (35)	埼玉	⑤	17	2143242342
6	③	金田 智博 (26)	福井	③	16	1523224111
①④ 1170円(4) ①④② 3650円(11) 逃げ						

## 7/9~13 三国巧者決定戦

1	①	中野 次郎 (43)	東京	①	05	431111111
2	②	福島 勇樹 (44)	東京	③	14	1313111
3	④	伊藤 誠二 (49)	愛知	⑤	08	3126152
4	⑤	盛本 真輔 (38)	兵庫	⑥	14	4116242
5	③	中村 日向 (25)	香川	④	21	2542221
6	⑥	吉川 昭男 (51)	滋賀	②	14	1523422
①② 220円(1) ①②④ 1010円(2) 逃げ						

## 7/17~22 につぼん未来プロジェクト競走in三国

1	④	三角 哲男 (57)	東京	④	04	3234151132
2	⑤	高倉 和士 (33)	福岡	⑤	09	1553132212
3	②	古賀 繁輝 (38)	佐賀	②	05	3322321141
4	③	松田大志郎 (36)	福岡	③	05	211314151
5	⑥	高野 心香 (36)	愛知	⑥	13	23142522
F	①	岡村 仁 (40)	大阪	①	+02	1111421341
④⑤ 750円(3) ④⑤② 1950円(7) 恵まれ						

# びわこ



## 深井利寿が9年ぶりの地元V!

「八景賞」の最終日は7月9日。予選トップの松田大志郎が準優Fの波乱となり、2位の飯島昌弘にファイナル1号艇が巡ってきた。複勝率22・9%の52号艇を完全に立て直し、パワフルな出足には自信の表情だ。ただ有賀達也も気配は好レベル。平本

3回目のVを飾った。(クラ)

6月30日は「におの湖賞」の最終日。予選首位の深井利寿が準優を逆転勝利でファイナルの1号艇に構える。手にする41号艇は複勝率22・5%ながら、強力な行き足を中心に仕上がりは上位クラスだ。相手筆頭は当地GIV2の市川哲也。前回V機(豊田健士郎)を駆る大橋純一郎も軽快なパワーでV奪取をもくろむ。迎えた優勝戦はグッシュ勢が後手に回るスリット隊形となり、インからトップSを決めた深井がそのまま先マイ。握って出た前田健太郎、差した市川を抑えて先行態勢を築く。深井は通算15回目、地元では9年ぶり4回目のV。

7月20日は「PayPay銀行賞」のファイナル。2日間の予選を首位通過の北野輝季が準優を1着でファイナル1号艇。16号艇は複勝率26・5%ながら、数字以上の足色に仕上げて本人も満足顔を見せる。ただ、GI王者の大峯豊、当地とは好相性の木下翔太は手ごわい相手。紅一点の喜井つかさも好パワーだけに侮れない。優勝戦は木下がカドからトップSも伸び切るまではいかず、北野が他艇の攻めを制してイン速攻へ。北野は通算18回目、当地では2022年5月の前回戦に続く2節連続&3回目のVを飾った。(クラ)

### 6/25~30 発刊60周年記念大阪スポーツ杯第29回におの湖賞

1	①	深井 利寿 (49)	滋賀	①	10	111312411
2	②	市川 哲也 (55)	広島	②	12	221163141
3	④	大橋純一郎 (43)	静岡	④	16	2321213232
4	⑥	乙藤 智史 (39)	福岡	⑥	21	422151522
5	⑤	森 晋太郎 (37)	福岡	⑤	18	34223112
6	③	前田健太郎 (39)	福岡	③	11	21623641
①② 290円(1) ①②④ 590円(1) 逃げ						

### 7/4~9 スポーツニッポン新聞社杯争奪 第49回八景賞

1	①	飯島 昌弘 (51)	埼玉	①	15	113213131
2	④	平本 真之 (40)	愛知	④	20	322231122
3	⑤	河村 了 (40)	愛知	⑤	18	2541332222
4	③	三角 哲男 (57)	東京	③	27	322631341
5	②	有賀 達也 (38)	埼玉	②	11	3231136211
6	⑥	佐々木裕美 (44)	山口	⑥	13	363511152
①④ 370円(1) ①④⑤ 1210円(3) 逃げ						

### 7/17~20 PayPay銀行賞

1	①	北野 輝季 (35)	愛知	①	16	1132111
2	⑤	宗行 治哉 (26)	広島	⑤	17	122132
3	④	木下 翔太 (33)	大阪	④	13	152112
4	③	大峯 豊 (40)	山口	③	19	123651
5	⑥	坪口 竜也 (35)	長崎	⑥	16	232412
6	②	喜井つかさ (34)	岡山	②	15	113421
①⑤ 1110円(4) ①⑤④ 3200円(12) 逃げ						

### 6/19~24 2024モーターボートレディスカップ

1	①	前田 紗希 (31)	埼玉	①	09	121211転51
2	②	鎌倉 涼 (35)	大阪	②	11	121222121
3	④	今井 美亜 (33)	福井	④	10	352151232
4	⑥	前原 哉 (29)	岡山	⑥	16	2414222
5	③	中谷 朋子 (47)	兵庫	③	12	231231311
6	⑤	犬童 千秋 (38)	福岡	⑤	06	62213222
①② 280円(1) ①②④ 970円(2) 逃げ						

### 7/1~5 トランスワートトロフィー2024

1	①	武田 光史 (50)	福井	①	14	1221331
2	③	渡邊 優美 (31)	福岡	③	15	5112121
3	④	和田 操拓 (40)	滋賀	④	12	5211352
4	⑤	向後 龍一 (43)	埼玉	⑤	19	1231612
5	②	谷川 祐一 (42)	滋賀	②	16	1111641
6	⑥	中里 英夫 (55)	群馬	⑥	21	1153312
①③ 310円(1) ①③④ 1000円(3) 逃げ						

### 7/10~15 第35回アサヒビールカップ

1	①	井上 忠政 (28)	大阪	①	10	152111321
2	③	瓜生 正義 (48)	福岡	③	08	215222161
3	④	森高 一真 (46)	香川	④	14	361113422
4	⑥	藤岡 俊介 (41)	兵庫	⑥	09	224116312
5	②	林 美恵 (49)	徳島	②	07	42121131
6	⑤	伊藤 将吉 (45)	静岡	⑤	09	233232112
①③ 270円(1) ①③④ 570円(1) 逃げ						

### 7/19~24 スポニチ杯争奪第58回なにわ賞

1	①	上平 真二 (50)	広島	①	14	332111231
2	②	太田 和美 (51)	大阪	②	13	115221131
3	⑤	馬野 耀 (30)	大阪	⑤	10	21314142
4	③	田口 節子 (43)	岡山	③	15	11123411
5	④	石渡 鉄兵 (49)	東京	④	07	14221332
6	⑥	山崎 義明 (57)	埼玉	⑥	17	31512232
①② 350円(1) ①②⑤ 1490円(6) 逃げ						

## 大ケガを負った住之江で... 前田紗希が完全復活V!



# 住之江

6月19日からは「モーターボートレディスカップ」が開幕。初日ドリーム戦は長嶋万記、2日目は滝川真由子が白星を飾った。その中で予選を6戦4勝のオール2連対にまとめた前田紗希がトップ通過を果たしたが、一般戦の4日目12Rでは転覆失格に。準優はどうか逃げ切ったが、足落ちは明らかで優勝戦に向けて不安を残した。だが再調整して迎えた優勝戦ではインからコンマ09のスタートを決めると一気に押し切った。これが当地初でデビュー2回目の優勝となったが、前田は昨年の7月に当地で復帰まで3か月を要した大怪我を負った。「引退も考えたけど、リハビリして復帰して、こうやって表彰式に立てて嬉しいですよ」とファンに完全復活をアピールした。

19日からは「なにわ賞」が開幕。4日目には下出卓矢が6コースまくりで節目となる通算1000勝を達成した。優勝戦は1号艇に構える上平真二が人氣に添えて快勝。今年初Vは通算73回目、当地では約2年2か月振りとなる4回目の栄冠を掴んだ。(安達弘持)

6月19日からは「モーターボートレディスカップ」が開幕。初日ドリーム戦は長嶋万記、2日目は滝川真由子が白星を飾った。その中で予選を6戦4勝のオール2連対にまとめた前田紗希がトップ通過を果たしたが、一般戦の4日目12Rでは転覆失格に。準優はどうか逃げ切ったが、足落ちは明らかで優勝戦に向けて不安を残した。だが再調整して迎えた優勝戦ではインからコンマ09のスタートを決めると一気に押し切った。これが当地初でデビュー2回目の優勝となったが、前田は昨年の7月に当地で復帰まで3か月を要した大怪我を負った。「引退も考えたけど、リハビリして復帰して、こうやって表彰式に立てて嬉しいですよ」とファンに完全復活をアピールした。

10日からは「アサヒビールカップ」が行われた。瓜生正義を筆頭に企業杯らしい豪華メンバ―が揃ったが、予選をトップで通過したのは地元の井上忠政。準優も快勝して、迎えた優勝戦では3枠に瓜生、4枠に森高一真とSG覇者もいたが、コンマ10のスタートを決めて先マイすると一気に突き放して圧勝。「足は抜群に良かった。完璧でした」と文句なしの仕上がりで、通算9回目の優勝はGⅢタイトル初制覇となった。

# 恒例のまくり企画 末永由楽がパワフルV!



末永由楽

## 7/5~10 マンスリーBOATRACE杯

1 ③ 中辻 崇人 (47) 福岡	③ 19 134111431
2 ④ 吉川 貴仁 (30) 三重	④ 25 452241112
3 ① 吉田凌太郎 (30) 愛知	① 23 141121221
4 ⑥ 齊藤 大将 (29) 東京	⑥ 30 244262332
5 ⑤ 富永 修一 (42) 福岡	⑤ 26 133224512
6 ② 坂口 周 (46) 三重	② 26 113331141
③④ 730円(4)	③④① 2480円(9) まくり

## 7/14~18 ダイスボカッパ争奪〜まくなってちょうだい〜

1 ② 末永 由楽 (37) 岡山	② 08 5113221
2 ⑥ 繁野谷圭介 (50) 大阪	⑥ 06 3542212
3 ① 上野真之介 (36) 佐賀	① 08 11114311
4 ③ 湯川 浩司 (44) 大阪	③ 08 34232211
5 ⑤ 菅 章哉 (36) 徳島	⑤ 04 16111222
6 ④ 河野 大 (36) 徳島	④ 07 2311122
②⑥ 9200円(21)	②⑥① 24240円(61) 差し

「マンスリーBOATRACE杯」SGに続いて、14人がセット交換を行った。初日連勝を飾ったのは山田哲也だが、純正で出足の仕上がりがひと息。準優敗退となった。シリーズの流れをつかんだのは、フライング休み明けの吉田凌太郎。レース勘とスタートを重視していて、エンジンには触らなかつた。幸いセット交換をすでにしていた51号機。伸びを中心に仕上がりが良かった。坂口周、中辻崇人の実力者がしつかり勝ち上がる。坂口の18号機は純正の星。中辻は近況追い求めている伸びを軸に仕上がりは悪くなかつた。吉川貴仁、富永修一はレース足を味方に、齊藤大将はセット交換後に急上昇。デビュー初優出を決めた。優勝戦は中辻が3カドに陣取り、コマ19のトップタイミング。好枠両者が遅れたのも奏功して、内の艇を二網打尽。バック抜け出すと、そのままゴールまで駆け抜けた。今年6度

目、尼崎でも6度目のV。「ダイスポカッパ争奪」尼崎恒例の企画レース「まくなってちょうだい」。初日選抜戦から上野真之介が4カドまくりを放ち、まくり賞が早くも飛び出した。この企画に向いている菅章哉は2日目6Rでようやく初のまくり賞を獲得した。4日目は1本のみだった賞も、準優10Rで湯川浩司が4カドからねじ伏せて、勝負強さを発揮した。予選トップ通過の河野大が準優12Rで快パワーの末永由楽にまくり差しを決められて2着。準優11Rを逃げた上野が優勝戦の1枠となった。優勝戦のスタートは全艇0台。特訓から伸びはパワフルだった末永が、イン先マイを果たした上野にバックで追いついて2Mは強引な先取り。パワーを味方にゴールまで突き進んだ。今年2度目、尼崎では初、通算8度目のVを飾った。なお、節間のまくり賞は9本飛び出した。(日刊スポーツ・北條)

# 鳴門



# シリーズリーダーの吉田拓郎 イン圧倒で今年初V!

蛭子能取杯競走は男女混合の4日間開催で行われた。予選トップ通過を決めたのは今泉友吾。2位は地元河野大で、竹田和哉が続いてトップ3。準優は波乱の連続で、10レースは紅一点で予選突破を決めた6号艇の津田裕絵が道中逆転の1着。インの竹田が優出を逃して、3連単は24万円オーバーのビッグ配当。11レースは5号艇の海野康志郎が3コースへ動き、まくり差して突き抜けて、インの河野は惜敗の2着。そんな流れでも予選トップの今泉はインから押し切り勝ちで人気に応えた。優勝戦は2号艇の海野がダッシュへ引いて2カドで沸かせたが、今泉が気合のコマ04のトップスタートを決めると他艇に一番はない。先マイから独走スタイルで今年3回目のVゴール。

5日間開催の第9回サッポロビールカップ競走は追加で羽田妃希、田上凜、三寫さららの女子3人が追加参戦となり、オール男子から混合戦となる珍しい戦いとなった。惜しくも女子は予選突破はならなかつたが、若手らしいフレッシュな走りシリーズを盛り上げてくれた。戦線はV候補の一角、吉田拓郎がリードした。予選3日目は連勝で得点率トップ通過。優勝戦も断然の人気を集めた。2号艇の谷津幸宏をはじめ骨太の対戦相手だったが、シリーズリーダーはビシッとインから他艇を制圧して今年初優勝。

6日間シリーズ第9回徳島バスカップ競走の優勝戦は全場Vヘリーチをかけている大場敏、坪井康晴の静岡コンビがともに優出を決めて注目されたが、準優でただ一人逃げ切り勝ちの中村魁生が絶好枠で立ちはだかつた。マイペースのイン戦に持ち込んだ中村は先マイ。機力完調の魚谷智之に肉薄される場面もあったが、振り切つて通算2回目のV。静岡両者の全場制覇は次回に持ち越し。(報知・田代)

## 6/22~25 蛭子能取杯競走

1 ① 今泉 友吾 (34) 東京	① 04 211231
2 ④ 河野 大 (35) 徳島	④ 09 112322
3 ③ 津田 裕絵 (37) 山口	③ 11 414321
4 ② 海野康志郎 (36) 山口	② 10 254221
5 ⑥ 永田 義雄 (40) 広島	⑥ 12 423112
6 ⑤ 塩田 北斗 (36) 福岡	⑤ 11 231442
①④ 450円(2)	①④③ 1750円(8) 逃げ

## 7/1~5 第9回サッポロビールカップ競走

1 ① 吉田 拓郎 (42) 岡山	① 11 22131131
2 ③ 森野 正弘 (39) 山口	③ 10 12223141
3 ④ 池永 太 (39) 福岡	④ 19 14231152
4 ⑤ 島田 賢人 (36) 埼玉	⑤ 16 16215222
5 ⑥ 田村 慶 (23) 徳島	⑥ 16 1422432
6 ② 谷津 幸宏 (44) 埼玉	② 12 1131351
①③ 300円(1)	①③④ 660円(1) 逃げ

## 7/10~15 第9回徳島バスカップ競走

1 ① 中村 魁生 (26) 大阪	① 07 213121311
2 ③ 魚谷 智之 (48) 兵庫	③ 09 451521121
3 ② 西野 雄貴 (34) 徳島	② 09 123511411
4 ⑤ 尾嶋 一広 (37) 兵庫	⑤ 06 132231232
5 ⑥ 大場 敏 (57) 静岡	⑥ 13 233632122
6 ④ 坪井 康晴 (46) 静岡	④ 07 111431132
①③ 390円(1)	①③② 1220円(3) 逃げ

# まるがめ



## 1 枠が転がり込んだ山崎哲司 2年3か月ぶりの優勝

6月26日からの「日本財団会  
長杯」瀬戸内オーシャンズX  
は7日間のロングラン開催。  
5日目に準優進出戦、6日目に  
準優、そして最終日の優勝戦へ  
とつながる流れだった。初日メ  
インのドリーム戦は藤岡俊介が  
4コースからまくり差し突破で  
快勝した。その藤岡は準優進出  
戦も勝ち上がり準優1枠で乗っ  
たが、西島義則とイン競りの形  
になり、2着通過での優出。節  
イチパワーでシリーズを席巻し  
ていた佐藤航も準優2着とな  
り、準優1枠で唯一逃げ切った  
山崎哲司に絶好のVチャンスが  
訪れた。スタートには自信を持  
つ男。最後はインから全速でコ  
ンマ04を決めて2年3か月ぶり  
の優勝を決めた。ブルーナイタ  
ーでは8年10か月ぶり、2度目  
の優勝だった。

7月9日からの「サッポロピ  
ールカップ2024」は新ボー  
トでの男女混合6日間シリー  
ズ。初日ドリーム戦は1枠シー  
下の地元・中田元素がイン完勝。  
しかし、準優で5着に敗れて優  
出ならず。優勝戦1枠を獲得し  
たのは後輩の濱野斗馬だ。逆転  
での予選トップ通過から準優1  
着、そして優勝戦もインからコ  
ンマ09のトップスタートを決め  
て逃げ切り、見事に王道Vを完  
成させた。今年1月の鳴門「レ  
ディースVSルーキーズバトル」  
でデビュー初Vを決めてその後  
に地元まるがめでもV、そして  
今回で今年3度目の優勝。四国  
地区のトップルーキーが、四国  
地区での3Vだ。

(A)

### 6/26~7/2 日本財団会長杯～瀬戸内オーシャンズX～

1	①	山崎 哲司 (45) 愛知	①	04	1142132141
2	③	中越 博紀 (40) 香川	③	10	41212153311
3	②	木下 翔太 (33) 大阪	②	03	36531123221
4	⑥	川崎 智幸 (57) 岡山	⑥	11	2254214232
5	④	佐藤 航 (24) 埼玉	④	09	1315134112
6	⑤	藤岡 俊介 (40) 兵庫	⑤	14	3163111132
①③ 510円(2) ①③② 2010円(8) 逃げ					

### 7/9~14 サッポロビールカップ2024

1	①	濱野 斗馬 (24) 香川	①	09	231111231
2	③	小坂 尚哉 (37) 兵庫	③	12	141122151
3	⑥	木村 光宏 (53) 香川	⑤	15	344333112
4	②	實森 美祐 (27) 広島	②	28	121132431
5	⑤	平高 奈菜 (37) 香川	④	16	343411122
6	④	福田 宗平 (34) 大阪	⑥	19	214235122
①③ 260円(1) ①③⑥ 1260円(5) 逃げ					

### 7/17~22 にっぽん未来プロジェクト競走inまるがめ

1	①	吉田 裕平 (27) 愛知	①	12	233112131
2	⑤	寺島 吉彦 (38) 東京	⑤	12	33522262
3	③	三好 勇人 (40) 香川	③	16	114335241
4	⑥	山田 丈 (25) 福岡	⑥	10	41262312
5	④	田頭 虎親 (26) 香川	④	14	261341352
6	②	山田 晃大 (34) 滋賀	②	18	31314211
①⑤ 970円(4) ①⑤③ 3840円(15) 逃げ					

## 大人気の男女ダブル戦 遠藤エミ&村岡賢人が優勝



# 児島

### 6/22~27 BOATBoyCUP 男女W優勝戦

1	①	村岡 賢人 (34) 岡山	①	04	113221131
2	⑤	小野 達哉 (38) 大阪	⑤	09	143451113
3	④	國崎 良春 (49) 福岡	④	08	45216412
4	②	北村 征嗣 (45) 大阪	②	06	224421231
5	③	真庭 明志 (40) 長崎	③	07	41214452
6	⑥	山下 昂大 (32) 岡山	⑥	08	431333223
①⑤ 770円(4) ①⑤④ 4670円(16) 逃げ					

### 6/22~27 BOATBoyCUP 男女W優勝戦

1	①	遠藤 エミ (36) 滋賀	①	05	413223111
2	③	金田 幸子 (44) 岡山	③	15	133522112
3	④	渡邊 優美 (31) 福岡	④	16	245411122
4	②	海野ゆかり (50) 広島	②	09	522141151
5	⑥	日高 逸子 (62) 福岡	⑥	17	552142523
6	⑤	堀之内紀代子 (44) 岡山	⑤	14	166232213
①③ 640円(3) ①③④ 1330円(5) 逃げ					

### 7/11~16 BTS岡山わけ開設3周年記念競走

1	②	土屋 智則 (39) 群馬	②	14	333531121
2	①	山本 修一 (43) 岡山	①	13	213135261
3	⑥	森 智哉 (26) 岡山	⑥	05	413631512
4	④	宮田 龍馬 (26) 兵庫	④	07	543312132
5	⑤	浅田千亜希 (51) 徳島	⑤	10	251333212
6	③	新田 智彰 (51) 大阪	③	12	134242241
②① 570円(3) ②①⑥ 4330円(15) 差し					

6月4節目の「BOAT Boy CUP 男女W優勝戦」は女子部門は遠藤エミ、男子部門は村岡賢人が優勝を飾った。初日の選抜戦1号艇となった遠藤はイン速攻で快勝。前半戦の4着を巻き返した。2日目以降も外枠を克服して得点率2位につけた。3日目が終わった時点で首位に立ち、4日目後半から4連勝で勢いを加速させた。「良かった。回り足、出足がいい」とターイン足は右肩上がり。最後はSGホルダーの貫禄を示した。村岡は初日の選抜戦1号艇で手堅くインから白星をつかみ、早々にリズムに乗った感じだった。良機のパワーを引き出して連勝発進を決める。選抜メンバの北村征嗣、菅章哉がポイントを積み重ねて迫ってきたが、得点首位を一度も渡すことはなかった。「ターイン回りは無難なところ。行き足から伸びは僕よりいい人はいない」とスリット付近の足は自信たっぷり。危

なげなくインから王道Vを決めた。7月2節目の「BTS岡山わけ開設3周年記念競走」は土屋智則が主役だ。初日の選抜戦は1号艇に座り、イン逃げ濃厚と思われたが、地元の山本修一が2コースから差しハンドルで突き抜けた。「エンジン自体がいい。全体的に少し余裕がある」と好感触を得ていた。一方の土屋は「乗り心地も全てが合っていたいなかった」とペラ調整を試行錯誤していた。山本は3日目まで首位を守っていたが、予選最終日の前半戦で6着を取り、得点率トップは田頭実が浮上。田頭は「行き足は問題ない」と深い進入からも伸び返して好レースを披露した。しかし、準優1号艇で3着となり、山本が優勝の1号艇を手にした。2号艇は土屋となり、最後は土屋が2コースから差し込んでSG2冠の貫禄を示した。(S.O)



# 「勝てるエンジン」出現！ 28号機が3節連続優勝!!



# 宮島

## 6/20~25 BTS安芸高田開設5周年サンフレッチェ広島カップ

1	①	枝尾 賢 (42)	福岡	①	10	131321121
2	②	三浦 敬太 (37)	東京	②	21	121514241
3	④	伊藤 啓三 (49)	埼玉	④	26	212432512
4	⑤	小林 泰 (39)	東京	⑤	18	314341412
5	⑥	繁野谷圭介 (50)	大阪	⑥	21	554211452
6	③	塚越 海斗 (25)	群馬	③	31	161351151
①② 390円(3) ①②④ 730円(1) 逃げ						

## 6/30~7/4 第9回ボカリスエットカップ

1	①	三浦 永理 (41)	静岡	①	09	11131321
2	⑤	廣瀬 将亨 (45)	兵庫	⑤	10	4511312
3	③	大原 祥昌 (24)	広島	③	05	3126331
4	④	橋本 年光 (49)	兵庫	④	09	1231242
5	⑥	松尾 充 (35)	三重	⑥	12	2333113
6	②	新田 智彰 (51)	大阪	②	10	4111411
①⑤ 950円(4) ①⑤③ 4000円(18) 逃げ						

## 7/10~15 第12回東洋観光グループ杯

1	①	島田 賢人 (36)	埼玉	①	06	121321131
2	④	佐々木康幸 (50)	静岡	④	05	243411122
3	⑥	森野 正弘 (39)	山口	⑥	11	234113233
4	②	寺田 祥 (45)	山口	②	14	111321321
5	⑤	大崎 翔 (37)	兵庫	⑤	13	31213642
6	③	小池 公生 (37)	福岡	③	19	16314511
①④ 550円(2) ①④⑥ 2160円(6) 逃げ						

準優勝戦は好粋イン勢が敗れる展開が続いていたが、この波乱の流れも枝尾は見事にシャットアウトして先マイを決め、優勝のポールポジションを獲得。V本番は2号艇の三浦敬太が意表を突く2カドを選択し枝尾は単騎のインとなったが、この進入に動じることなく冷静にインからコンマ10のトップSを踏み込むと素早く速攻態勢を持ち込みVゴール。これで今年2回目、通算では31回目、宮島は

2度目の美酒を味わった。続く6月30日からの男女混合「ボカリスエットカップ」では三浦永理が優勝。こちらにも手にしたのは28号機。前検から行き足は目立っていたが、軽量も重なりS後からの足と回つての立ち上がりから後続を引き放す足は異次元だった。

2節連続Vを達成した28号機の行方が注目された7月10日からの「東洋観光グループ杯」では実力者の島田賢人が獲得。期待に応え予選首位通過を果たすと、勢いそのままに優勝。これで28号機は3節連続で優勝。無論、28号機がこれまでの功績を残せたのは勝ち切る技量を持った各選手がしっかりとパワーを引き出して好結果に結び付けたからこそだが、この先も28号機は「勝てるエンジン」として役目を果たしてくれるだろう。(BR宮島専属記者・宮崎経督)

6月20日からの「BTS安芸高田開設5周年サンフレッチェ広島カップ」は枝尾賢が優勝。天候の変化が非常に激しかった大会。予選中のポイント争いも順位変動が激しく乱戦だったが、この予選を7戦4勝のオーラ3連対でトップ通過したのが枝尾。手にしていたのは注目機のひとつ28号機。序盤から行き足の良さは際立っており、これが枝尾のレーススタイルにパチツとはまった。



# デビュー初Vの思い出の地で 妹尾忠幸が「最後？」の優勝

6月19日から24日までの「九州スポーツ杯」は妹尾忠幸が優勝した。このシリーズは準優勝で1枠トリオが全敗する大波乱。10Rは妹尾が2コース差して制し、11Rも渡邊英児が2コースから差しを決めた。そして12Rは中野孝二がカドまくりを決めて3連単7万円台のビッグ配当に。この結果、予選4位の妹尾が優勝戦の1枠を獲得となり、最後は枠を生かして押し切った。妹尾はデビュー初Vが徳山だったこともあり「最初と最後の優勝が徳山でうれしいです」と自虐気味に喜びを表現した。

6月28日から7月3日までは「ニッカン・コム杯」。3日目に大時計の昇降装置が故障して9R以降が中止になるというアクシデントがあったが、何とか復旧して4日目以降は順当にレースが行われた。このシリーズを制したのは白井英治。今年ここまで優勝がなく「自分でも信じられない」と話していた白井だ。

7月16日から20日までは「yab山口朝日放送杯争奪戦」。この節でブレイクしたのが山口真喜子だ。予選を2位通過で初の準優勝1枠に。プレッシャーをはねのけきっちり逃げて優勝。初Vは逃したが、今後が楽しみだ。

7月6日から12日は「日本財団会長杯」が7日間のロングシリーズで行われた。優勝戦の1枠には江本真治。地元徳山は初Vだった02年以来、22年ぶりの地元Vを目指したが、中辻博訓の4コース差に屈して3着に終わった。優勝した中辻は「信じられない」と本人もびっくりの下克上だったが、その後の浜名湖もVとこの優勝で勢いに乗ったようだ。

## 6/19~24 九州スポーツ杯争奪戦

1	①	妹尾 忠幸 (43)	岡山	①	12	213313431
2	⑥	西村 勝 (50)	埼玉	⑥	13	622131222
3	②	渡邊 英児 (54)	静岡	②	15	142214211
4	③	中野 孝二 (25)	三重	③	16	31622251
5	④	谷村 一哉 (45)	山口	④	13	213142132
6	⑤	和田 拓也 (33)	兵庫	⑤	09	251231152
①⑥ 2590円(7) ①⑥② 12170円(31) 逃げ						

## 6/28~7/3 ニッカン・コム杯争奪戦

1	①	白井 英治 (47)	山口	①	09	61311121
2	②	重野 哲之 (45)	静岡	②	10	51211321
3	④	松村 敏 (40)	福岡	④	08	22421412
4	⑤	清水 敦輝 (43)	岡山	⑤	09	122314222
5	③	長野壯志郎 (43)	福岡	③	07	165213311
6	⑥	笠置 博之 (33)	大阪	⑥	12	42444132
①② 220円(1) ①②④ 560円(1) 逃げ						

## 7/6~12 日本財団会長杯争奪戦

1	④	中辻 博訓 (49)	福井	④	17	55112122152
2	②	木下 翔太 (33)	大阪	②	13	14313114111
3	①	江本 真治 (49)	山口	①	12	2113212141
4	⑤	横田 貴満 (31)	佐賀	⑤	24	22162515212
5	③	大峯 豊 (40)	山口	③	16	12251132151
6	⑥	高岡 竜也 (31)	山口	⑥	27	1341461462
④② 3200円(11) ④②① 8310円(29) 差し						

## 7/16~20 yab山口朝日放送杯争奪戦

1	①	上田 龍星 (29)	大阪	①	11	211111361
2	②	山口真喜子 (27)	長崎	②	12	1132351
3	⑤	岡村 慶太 (36)	福岡	⑤	14	222411312
4	④	白神 優 (33)	岡山	④	15	24313142
5	③	前田 聖文 (36)	愛知	③	22	11151551
6	⑥	森 悠稀 (31)	兵庫	⑥	12	3223212
①② 670円(4) ①②⑤ 2330円(11) 逃げ						

# 下関



## 代名詞の「3カドまくり」 今垣光太郎が通算116度目V

6月20日に開幕した「にっぽん未来プロジェクト競走in下関」ではエース機候補の66号機を地元期待の柳生泰二が引き当てた。ただ、序盤は「これはエース機なんですか？」と、思うような舟足ではなかったが、中盤からはしつかり好みの舟足にシフトさせると、予選を6戦4勝オール2連対でトップ通過。準優も柳生、松田大志郎、中村尊の1枠トリオがそろって勝利し、V戦は機力自慢が集結した。その優勝戦ではインからコマ18のSで少々立ち後れてしまっ

たが、節一クラスの機力に物を言わせて先マイを果たし、今年2月の当地以来となる通算32回目的Vを達成した。  
7月3日から行われた「ミッドナイトボートレース下関4th九州スポーツ杯」はドリーム戦1枠の海野康志郎が低調な29号機に苦戦、F2の身ながらエース格の11号機を引き当てた安達裕樹が3コースからまくり差し

### 6/20~25 にっぽん未来プロジェクト競走in下関

1	①	柳生 泰二 (39)	山口	①	18	221111331
2	⑤	中村 晃朋 (32)	香川	⑤	10	413223412
3	②	松田大志郎 (36)	福岡	②	13	131131111
4	③	中村 尊 (43)	埼玉	③	12	251111241
5	④	松田 祐季 (38)	福井	④	11	641132232
6	⑥	高岡 竜也 (31)	山口	⑥	11	153412622
①⑤ 730円(4) ①⑤② 1900円(8) 逃げ						

### 7/3~7 ミッドナイトボートレース下関4th九州スポーツ杯

1	①	山田 康二 (36)	佐賀	①	18	1121621
2	②	安達 裕樹 (41)	三重	②	17	51212311
3	⑤	海野康志郎 (36)	山口	⑤	15	32361152
4	⑥	高野 哲史 (35)	兵庫	⑥	15	54331252
5	④	長尾 章平 (39)	山口	④	16	1142162
6	③	森林 太 (51)	長崎	③	20	6214231
①② 260円(1) ①②⑤ 980円(3) 逃げ						

### 7/15~19 ミッドナイトボートレース下関5th

1	③	今垣光太郎 (54)	福井	③	14	23211141
2	⑥	佐々木完太 (28)	山口	⑥	17	25433312
3	①	小池 修平 (29)	大阪	①	19	111111421
4	④	川野 芽唯 (38)	福岡	④	16	1333542
5	⑤	市橋 卓士 (44)	徳島	⑤	08	1134632
6	②	新開 航 (28)	福岡	②	18	14122131
③⑥ 5630円(12) ③⑥① 22040円(41) まくり						

でドリーム戦を制し、序盤から波乱含み。この傾向は節間続き、予選トップだった長尾章平が準優では森林太のまくり差しに屈してまさかの2着。V戦ポールポジションは尼崎SGグラチャンから中1日での追加参戦となった山田康二が手にした。「調子はあまり良くないですね」と話していたが、機力で上回る安達の攻めを何とかこらえて今年2度目のVを飾った。

## 38人目の偉業達成！ 山田哲也が24場制覇！



# 若松

### 6/25~7/1 唐十杯

1	①	山田 哲也 (41)	東京	①	06	1111121111
2	⑤	富田 惣生 (25)	福岡	⑤	19	2162512152
3	②	中辻 崇人 (47)	福岡	②	13	22211131311
4	⑥	百武 翔 (31)	佐賀	⑥	27	45232312512
5	③	岡部 大輔 (43)	佐賀	③	14	62242514321
6	④	鈴木 博 (54)	埼玉	④	21	14414333242
①⑤ 1490円(6) ①⑤② 3610円(13) 逃げ						

### 7/6~9 若松夜王シリーズ第1戦アマメカップ海軍王決定戦

1	①	西山 貴浩 (37)	福岡	①	08	111421
2	④	井本 昌也 (27)	山口	④	16	251522
3	⑥	坪口 竜也 (35)	長崎	⑥	19	313422
4	②	梶原 正 (49)	福岡	②	13	12221
5	⑤	大上 卓人 (33)	広島	⑤	19	143312
6	③	竹田 辰也 (40)	山口	③	09	133411
①④ 550円(3) ①④⑥ 4650円(17) 逃げ						

### 7/11~16 ルーキーズ9戦榎木通彦カップ24回スバーJLCP

1	②	藤原 碧生 (24)	岡山	②	15	132512161
2	①	原田才一郎 (27)	福岡	①	10	215112131
3	③	津田 陸翔 (23)	広島	③	08	134311321
4	⑥	西川 拓利 (25)	福岡	⑥	19	52541152
5	⑤	坂本 雄紀 (29)	群馬	⑤	11	412246312
6	④	藤森 陸斗 (25)	福岡	④	11	132362522
②① 1220円(5) ②①③ 3270円(11) 差し						

「6月25日〜7月1日」全24場制覇達成へ乗り込んできた山田哲也。手にしたのは実績のないエジンジンだったが、2節前の選手がセット交換して上昇の兆しがあり、初日ドリーム戦を5艇立ての5コースからまくり快勝して勢いに乗ると、終わってみれば12戦11勝のオール2連対で準パーフェクトV。38人目の偉業達成となった。年間タイトル争いの最多勝利と勝率でトップに君臨している中辻崇人でさえ手も足も出ない強さ。「GIを優勝した時と同じくらいうれし」と山田は会心の笑顔。

「7月6日〜9日」西山貴浩と原田幸哉が2枚看板の4日間短期決戦。西山は酒見峻介の伸びべラエンジン、原田はこの節のワンリスト機とそろって抽選運は最悪。原田は2日目に連勝とさすの意地を見せたが回り足が仕上がらずに優出失敗。一方の西山はペラの形を「石川真二さんと自分のエースペラの融合」という奇策に打って出て正解。出足はしつかり仕上がって予選トップからの王道優勝を果たした。また、山田哲也のエジンジンを乗り継いだ梶原正は西山があらされるほどのパワーに仕上がりが優出した。

# 優勝戦は8本目の万舟！ 中村尊が2コース差しV！



# 芦屋

## 6/21~26 BOATBoyカップモーター芦屋オープン3周年記念

1	③	渡邊 睦広 (55)	東京	④	04	142311231
2	⑤	三浦 永理 (41)	静岡	⑤	05	155112322
3	②	高田 明 (39)	佐賀	⑥	17	153211612
4	⑥	永井 彪也 (31)	東京	②	15	1224331121
5	④	石川 真二 (54)	福岡	③	14	5112413222
6	①	永田 秀二 (38)	東京	①	16	213221341
		③⑤	5490円(15)	③⑤⑥	18860円(51)	まくり

## 7/2~7 にっぽん未来プロジェクト競走in芦屋

1	②	中村 尊 (43)	埼玉	②	03	341241111
2	①	益田 啓司 (45)	福岡	①	05	213121611
3	⑥	前出 達吉 (34)	福井	⑥	09	221366232
4	④	岡 祐臣 (40)	三重	④	09	111261142
5	⑤	前田 聖文 (36)	愛知	⑤	11	133115322
6	③	西橋 奈未 (27)	福井	③	09	231355151
		②①	1270円(5)	②①⑥	13520円(47)	差し

## 7/14~19 福岡ソフトバンクホークス杯

1	②	渡邊 翼 (33)	山口	③	08	412133531
2	⑤	白水 勝也 (51)	福岡	⑤	17	124151412
3	①	松村 敏 (40)	福岡	①	19	1123111311
4	④	深川 真二 (50)	佐賀	②	17	121211112
5	③	秋山 広一 (49)	香川	④	16	351225211
6	⑥	山田 佑樹 (37)	岡山	⑥	22	346242132
		②⑤	7880円(16)	②⑤①	16880円(41)	まくり

6月26日が最終日だった「BOATBoyカップ」は、東京勢の活躍が光った。優勝戦1号艇を手にしたのは、準優で石川真二の前付けをコンマ01のSで受け止めた永田秀二。2号艇が永井彪也、3号艇が渡邊睦広と1〜3号艇を東京支部が固めた。石川の前付けに對し。永田と永井は棒を主張し、カドを選択したのが渡邊。コンマ04のトップSから一気にスロー勢をのみ込んで、芦屋初、通算15回目の優勝を飾った。渡邊は3月びわこで負傷して前節の6月多摩川で実戦に復帰したばかりだったが、調整面も含めてケガの影響を全く感じさせないレースぶりだった。

「にっぽん未来プロジェクト競走in芦屋」の最終日は波乱の連続。優勝戦で人気を集めたのは1号艇で地元益田啓司だったが、準優後も「優勝戦で一番出ていないのは自分だと思っ」と自信を持っていないままだった。その隙を突いたのが中村尊で、準優と同じ2号艇で2コースからの差し切り勝ち。益田は2着に粘ったが、3着に6コースからチルト2で迫った前出達吉が入ってこの日8本目の万舟決着。七夕決戦は穴党の願いが届いたようだ。

19日に最終日を迎えた「福岡ソフトバンクホークス杯」は、予選トップ6をドリーム組が占めて準優1、2号艇を固めた。ただ、準優で1〜2決着はひとつもなし。予選トップ通過だった深川真二が2着で勝ち上がったことで、優勝戦は通常運転の前付け。11節連続優出の1号艇松村敏とともに起こし位置は深くなつた。マイペースの3コースを選択した2号艇の渡邊翼が、コンマ08で唯一0台のトップS。これには内両者も対抗できず、うれしいデビュー初Vを飾った。デビューから10年2か月、通算14回目の優出での美酒となった。(スポーツ報知・井上)



# 2コース差しVの池永太 若松クラシック目指し奮闘中！

この中間に行われた3つのシリーズはいずれも福岡支部の選手が頂点に立った。まずは6月21日に開幕した「漫画アクション杯」。予選トップ通過から王道を歩んだのは上野真之介。準優をしっかりと逃げて、頂点まであと1勝としたが、それに待ったをかけたのが池永太だった。優勝戦はコンマ14の全速スタートを踏み込んで内にプレッシャーをかけると、2コースから俊敏な差しハンドルを入れて上野を打ち破った。これで今年4回目の優勝。「来年クラシックが若松で開催されるので、なんとかあと2回優勝したい」と地元SGの権利取りへ奮闘を誓った。

復活Vとなったのは7月2日開幕の「山笠特選 県内選手選抜・日本財団会長杯」。オール福岡支部の対決となったシリーズは仲谷颯仁がシリーズリーダー争いを制して、優勝戦1号艇を獲得。とはいえ「足的にミス

はできない」と不安ものぞかせる仕上がりだった。優勝戦はその不安が的中。3コースからコンマ09の快ショットを決めた竹井貴史が迷わずまくりを選択すると、これを受け止めきれず、仲谷は引き波に沈んだ。竹井は20年5月福岡以来、4年2か月ぶりの優勝。怪我からの復帰後はなかなか優勝に手が届かなかっただけに「優勝まで」本当に長かった。また優勝を重ねていけるように頑張ります」と笑顔を振りまいた。

7月13日開幕の「ライジングゼファーフクオカ杯」は地元エースの篠崎元志が登場。デビュー率も懸かったシリーズで懸かっているのを引き締めて頑張ります」と大舞台での活躍を誓った。(スポニチ・鳥飼)

## 6/21~26 漫画アクション杯

1	②	池永 太 (39)	福岡	②	14	115211361
2	①	上野真之介 (36)	佐賀	①	12	132113131
3	③	太田 和美 (51)	大阪	③	22	155411421
4	④	白水 勝也 (51)	福岡	④	19	121351122
5	⑤	仲口 博崇 (51)	愛知	⑤	23	326111212
6	⑥	島川 光男 (59)	広島	⑥	19	262134352
		②①	1850円(6)	②①③	4480円(13)	差し

## 7/2~7 山笠特選 県内選手選抜・日本財団会長杯

1	③	竹井 貴史 (33)	福岡	③	09	141152111
2	④	今井 貴史 (39)	福岡	④	10	513211142
3	⑤	塩田 北斗 (36)	福岡	⑤	12	251121522
4	①	仲谷 颯仁 (29)	福岡	①	09	131111151
5	⑥	小松 卓司 (40)	福岡	⑥	19	532123212
6	②	渡辺 浩司 (40)	福岡	②	11	111114231
		③④	3580円(8)	③④⑤	13270円(29)	まくり

## 7/13~18 ライジングゼファーフクオカ杯

1	①	篠崎 元志 (38)	福岡	①	14	111412311
2	②	齊藤 仁 (47)	東京	②	20	131235121
3	④	枝尾 賢 (42)	福岡	④	16	223121512
4	③	佐藤 博亮 (36)	愛知	③	13	112414421
5	⑤	山一 鉄也 (57)	福岡	⑤	14	561121332
6	⑥	橋本 年光 (49)	兵庫	⑥	18	313424322
		①②	260円(1)	①②④	680円(1)	逃げ



# 予選トツスの意地見せた！ 船岡洋一郎が5コースまくり！

6/25～30 第11回見帰りの滝あじさいカップ

1	①	深川 真二 (50)	佐賀	①	18	111113111
2	②	大峯 豊 (40)	山口	②	23	131413111
3	⑤	大橋栄里佳 (42)	福岡	⑤	26	21251222
4	④	森 貴洋 (47)	大阪	④	25	123224312
5	⑥	横田 貴満 (31)	佐賀	⑥	22	413122452
6	③	小池 修平 (29)	大阪	③	23	12艇313121
①② 230円(1) ①②⑤ 1500円(5) 逃げ						

7/4～9 西日本スポーツ杯

1	④	船岡洋一郎 (37)	広島	⑤	10	211312132
2	③	吉島 祥之 (39)	愛知	④	20	213155211
3	①	西村 拓也 (37)	大阪	①	19	134113111
4	⑤	赤岩 善生 (48)	愛知	②	15	141232142
5	⑥	齊藤 仁 (47)	東京	⑥	16	351221322
6	②	岡崎 恭裕 (37)	福岡	③	14	121414251
④③ 3860円(14) ④③① 15700円(58) まくり						

7/13～16 日本モーターボート選手会会長杯

1	①	岩瀬 裕亮 (36)	愛知	①	08	211131
2	③	赤坂 俊輔 (41)	長崎	②	13	123131
3	②	宮地 元輝 (37)	佐賀	③	17	211221
4	④	上條 嘉嗣 (34)	大阪	④	25	142142
5	⑤	佐藤 航 (28)	埼玉	⑤	26	323312
6	⑥	藤田 浩人 (38)	佐賀	⑥	33	441442
①③ 450円(2) ①③② 890円(3) 逃げ						

7/20～24 マンスリーBOATRACE杯

1	①	今泉 友吾 (34)	東京	①	03	1312321
2	③	高橋 正男 (44)	兵庫	③	08	1324321
3	④	上村 純一 (44)	群馬	④	10	3331152
4	②	池永 太 (39)	福岡	②	05	2121541
5	⑤	中島 秀治 (28)	滋賀	⑤	14	5221412
6	⑥	福岡 泉水 (26)	兵庫	⑥	11	4142222
①③ 490円(2) ①③④ 2240円(7) 逃げ						

「第11回見帰りの滝あじさいカップ」は女子レーサーの大橋栄里佳が大活躍。ウエスタンヤングで土屋南が予選を4位通過する原動力になった好素性55号機を引き当て、ピット離れも力強く文句なしの第一仕立て。2号艇で臨んだ準優12Rは逃げた深川真二を差しから追走2着。優勝戦は5号艇の外枠ではあったが、対戦した深川が「ピット離れからすごいね。(優勝戦1号艇)そもそもインから行けるかどうか分からない」と、あまりのパワー差に驚きを隠せないほど。ベスト6入りの大橋は「回った後もすごいです。優勝が狙える足をしているので頑張るだけです」。

優勝戦は荒天で安定板使用。インをキープできた深川は2コースの大峯豊に少しのぞかれ気味ではあったがトップスタートからイン先マイ。深川が機力劣勢ながら今年4回目、通算では113回目のVゴールを決めた。大橋は悲願達成とはいかなかったが3着。9戦して舟券を外したのは1度だけと、大ハッスルの6日間シリーズだった。「西日本スポーツ杯」は、尼崎SGランドチャンピオンでファイナル入りの西村拓也が優勝の1号艇を獲得。イン戦で人氣を背負ったが、船岡洋一郎が5コースから伸びてまくり勝ち。準優12Rを2着と取りこぼしていた船岡が、最後は予選トップ通過の意地を見せる格好となった。

「日本モーターボート選手会会長杯」は岩瀬裕亮が新ペラを仕上げてイン逃げ圧勝。「好きなレース場」の唐津では、意外にも初優勝だった。

「マンスリーBOATRACE杯」は、シリーズリーダーの今泉友吾がイン速攻でからつ初優勝。今年は4Vで、来年のSGクラシック出場へまた一歩前進した。(報知・高木)

6/19～23 ミッドナイトボートレースin大村 3rd

1	①	金子 和之 (37)	埼玉	①	11	2421111
2	⑤	西野 雄貴 (34)	徳島	⑤	08	35113312
3	②	竹井 貴史 (32)	福岡	②	15	34312211
4	⑥	赤羽 克也 (42)	埼玉	⑥	17	23343112
5	③	赤坂 俊輔 (41)	長崎	③	13	11553231
6	④	森野 正弘 (39)	山口	④	16	42313112
①⑤ 1060円(5) ①⑤② 2710円(9) 逃げ						

6/26～7/1 アサヒビールカップ

1	①	北山 康介 (34)	東京	①	13	351211231
2	④	中澤 和志 (47)	埼玉	④	17	121341142
3	③	渋谷 明憲 (38)	大阪	③	14	152133311
4	②	村上 遼 (32)	長崎	②	08	215251211
5	⑥	伊藤 誠二 (49)	愛知	⑥	19	41325212
6	⑤	渡邊雄一郎 (38)	大阪	⑤	34	231221522
①④ 590円(2) ①④③ 2820円(13) 逃げ						

7/3～6 BTSオラレ志布志開設15周年記念

1	①	桑原 悠 (37)	長崎	①	01	111341
2	③	今泉 友吾 (34)	東京	③	07	452161
3	②	松井 洪弥 (31)	三重	②	05	162131
4	⑤	新田 泰章 (37)	広島	⑤	09	142412
5	④	丹下 将 (38)	愛知	④	11	21242
6	⑥	西丸侑太郎 (20)	香川	⑥	11	41262
①③ 300円(2) ①③② 740円(2) 逃げ						

7/8～13 BTS長洲開設15周年記念 なかす金魚杯

1	②	坂元 浩仁 (38)	愛知	②	01	413113221
2	⑤	石塚 裕介 (38)	三重	⑤	02	16621612
3	④	金田 幸子 (44)	岡山	④	03	111465112
4	⑥	百武 翔 (31)	佐賀	⑥	06	33434212
5	①	石橋 道友 (42)	長崎	①	00	121335121
F	③	前沢 丈史 (38)	東京	③	+02	43352121
②⑤ 11720円(13) ②⑤④ 49050円(41) 恵まれ						

## コンマ01の快ショット！ 追加の桑原悠が冷や汗V！



# 大村

「6月19～23日」このシリーズからエンジン、ボートが更新された。赤坂俊輔は初日に連勝したものの、「このエンジン(53号機)はハズレですね」と冷静に分析。2日目は⑤⑤。その後も苦戦したが、準優は4カドから01のSを決めてまくったのはさすがだ。予選1位の金子和之は出足に手応え。3日目には赤坂のまくりを差してトップの座を奪い、準優前のレースでは6コースまくり差し。完全に流れを引き寄せた。最後まで逃げて、20年12月津以来、デビュー2度目の優勝を飾った。

初優勝を飾った。「7月3～6日」グラチャンを走っていた桑原悠が急ぎ追加となったが、主役としての大役を見事に務めた。予選は2日間と短かったが、トップで通過した。ただ、舟足はよく見て中堅。松井洪弥と今泉友吾は全部の足が良かったし、デビュー初優勝の西丸侑太郎はチルト1に跳ねて一発勝負に出た。それでも桑原はインから01のSを決めて、気合で押し切った。レース後はぐったり。

「7月8～13日」予選1位だった田口節子が準優で敗退。同2位の石橋道友に優勝戦1号艇が巡ってきた。序盤はピリツとした5日目には出足が上昇。優勝が期待されたものの、スタートは全体的に早く、3コースまくり差しの前沢丈史にFコール。坂元浩仁が繰り上がっての優勝となった。(報知・長谷)